

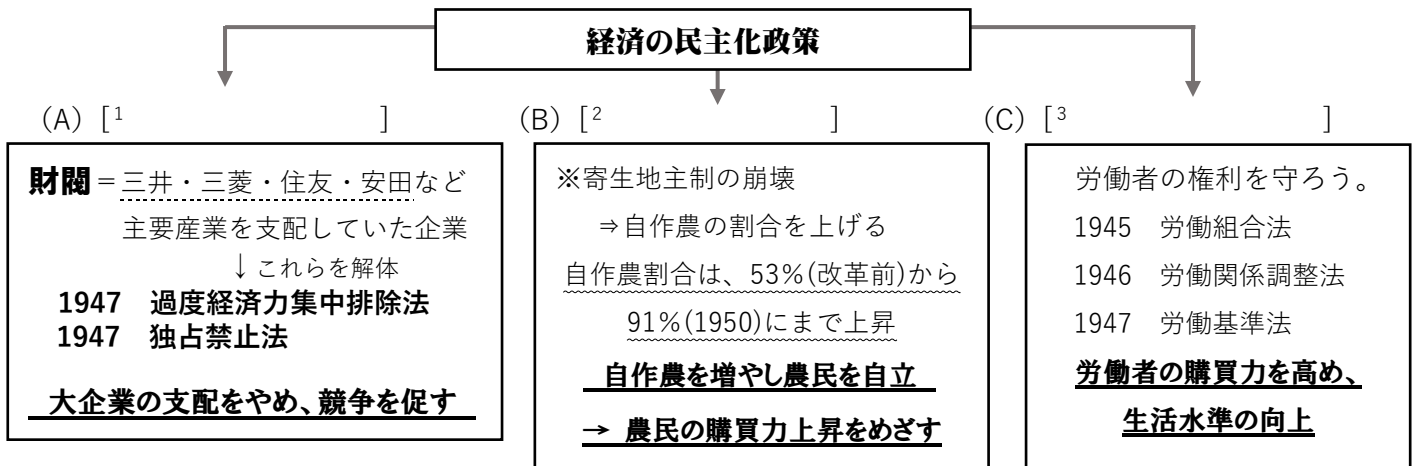
戦後復興から高度経済成長へ



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 経済の民主化【1945~1955】

* 第二次世界大戦敗北 ⇒ (300万人あまりの命、国富の4分の1を失う)



■ 日本経済の再建

1946[4]

] : 経済建直しのために、限られた資源を石炭・鉄鋼などの
基幹産業に重点的に配分。

まずは主要どころから
復活させるぞ!



これに必要な資金はどこから?

- [① **アメリカからの援助** (**ガリオア** : 食料品や衣料品、**エロア** : 工業原料の輸入)
- [② [5]] (1947) という特別な会社による債券(復金債)を発行

その結果、紙幣が大量に発行され、激しいインフレを招く → : [6]]物価が戦前の200倍に

↓ **インフレ収束のために**

1948 GHQによる発表 = [7]]

↓ **具体化**

1949 [8]] : アメリカの銀行家ドッジが経済顧問として来日し、
日本経済の建直しのために指摘を行なった。

- ・ **超均衡予算** : 超増税&財政削減 ⇒ できるだけ税金で財政をまわそう。
- ・ [9]] : 米財政学者シャウプらによる、日本の税制改革…直接税中心の国へ
- ・ **復金債** の発行禁止 = これ以上借金でまかなうのは禁止。
- ・ 単一為替レート (**1ドル360円**で固定) ⇒ 貿易の安定を目指す。

予定通りインフレは収束したが、
厳しい引き締めにより深刻なデフレ不況

↓
ここで不況から脱出できる転機が!

1950 [10]] 勃発 ⇒ 米軍からの武器注文で経済が潤う = **特需景気**

⇒ 不況からの脱出!!! ⇒ 1955 戦前の生産水準を回復

戦前の生産水準を回復した日本は、積極的な設備投資を中心に急成長を遂げていく

Think🗨️ 日本はなぜ高度経済成長が実現できたのか？

日本が急成長を遂げることが出来た要因はいくつかある。以下に入る単語を考えてみよう。

- ① 経済の民主化 → 農民や労働者の[]が増えた！
- ② []の民主化 → 良質な労働力が豊富に生み出された！
- ③ 日本国民は[]が高かった → 銀行に集まった資金を積極的に企業へ投資できた。
- ④ 日本国憲法のおかげで、[]支出が少なかった！
- ⑤ []戦争(1950~)や[]戦争(1960年代頃~)で特需が発生した！

(ii)高度経済成長【1955~1973】

■ 高度経済成長期（1955~1973頃）：年平均 約10%の実質経済成長率を記録

- ① [11]]景気（1954~57）：輸入中心の民間設備投資によって支えられた好景気

- ・「もはや戦後ではない」（1956）
- ・耐久消費財ブーム：「三種の神器」（冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ）



- ② [12]]景気（1958~61）

- ・池田勇人内閣 [13]



10年間で実質 GNP を倍にしよう！



- ③ [14]]景気（1962~64）：公共事業（東海道新幹線、首都高速など）の急増により起こった好景気

- ・貿易・為替の自由化
- ・ [15]]（経済協力開発機構）に加盟（1964）

先進国の仲間入りを果たす

- ④ [16]]景気（1965~70）：輸出中心の好景気

- ・ GNP が資本主義世界で第2位に
- ・ 経常収支が黒字に = “国際収支の天井”解消
- ・ 3C の普及（ car・cooler・color TV ）

大量生産・大量消費社会の到来

* 規模の経済

：生産設備を拡大し利益の規模を高めていく

* 集積の経済

：関連企業を一定の地域に集める（例：太平洋ベルト）
⇒ 運搬や輸送のコストが下がり、利益が生まれる



* 急激な経済発展により、問題も発生

- ・ 公害問題 ⇒ 公害対策基本法（1967）
⇒ 環境庁設置（1971）⇒ 環境省（2001）
- ・ 都市部の過密化・住宅不足・交通渋滞
- ・ ドーナツ化現象、農村部の過疎化 など

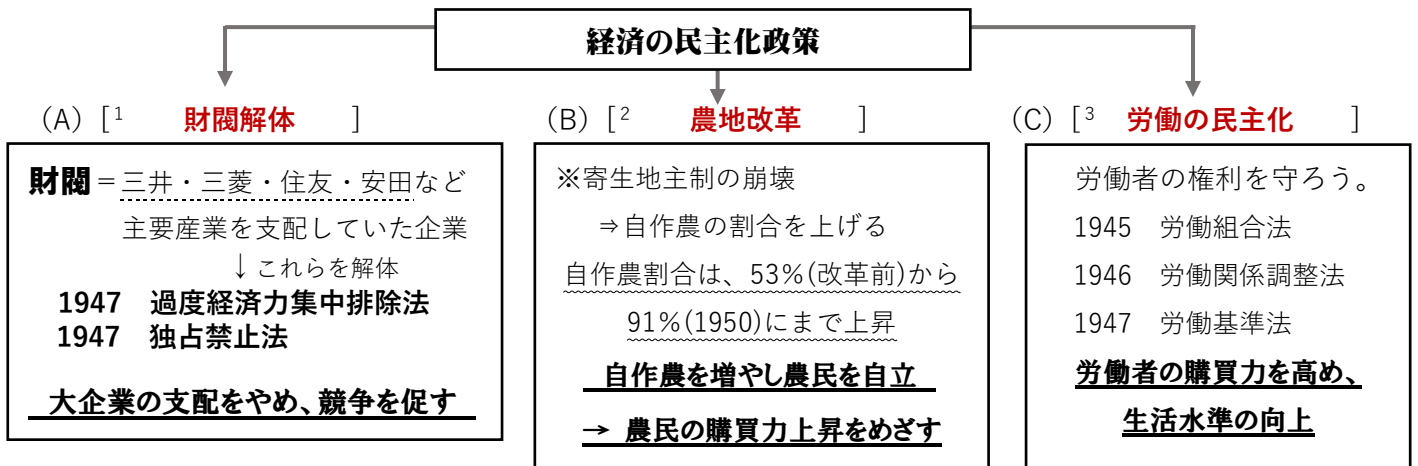
戦後復興から高度経済成長へ



公共の学びを深めるところ Think...考えるコーナー(5分~10分) / Work...作業するコーナー(10分~20分)

(i) 経済の民主化【1945~1955】

* 第二次世界大戦敗北 ⇒ (300万人あまりの命、国富の4分の1を失う)



■ 日本経済の再建

1946[4] **傾斜生産方式**]: 経済建直しのために、限られた資源を石炭・鉄鋼などの
基幹産業に重点的に配分。

まずは主要どころから復活させるぞ!



これに必要な資金はどこから?

- ① **アメリカからの援助** (ガリオア: 食料品や衣料品、エロア: 工業原料の輸入)
- ② [5] **復興金融金庫**] (1947) という特別な会社による債券(復金債)を発行

その結果、紙幣が大量に発行され、激しいインフレを招く→: [6] **復金インフレ**]物価が戦前の200倍に

↓ **インフレ収束のために**

1948 GHQによる発表 = [7] **経済安定9原則**]

↓ **具体化**

1949 [8] **ドッジ・ライン**]: アメリカの銀行家ドッジが経済顧問として来日し、
日本経済の建直しのために指摘を行なった。

- ・ **超均衡予算** : 超増税&財政削減 ⇒できるだけ税金で財政をまわそう。
- ・ [9] **シャープ勧告**]: 米財政学者シャープらによる、日本の税制改革…直接税中心の国へ
- ・ **復金債** の発行禁止 = これ以上借金でまかなうのは禁止。
- ・ 単一為替レート(1ドル360円で固定)⇒貿易の安定を目指す。

予定通りインフレは収束したが、
厳しい引き締めにより深刻なデフレ不況

↓
ここで不況から脱出できる転機が!

1950 [10] **朝鮮戦争** 勃発 ⇒ 米軍からの武器注文で経済が潤う = **特需景気**
⇒ 不況からの脱出!!! ⇒ 1955 戦前の生産水準を回復

戦前の生産水準を回復した日本は、積極的な設備投資を中心に急成長を遂げていく

Think🗨️ 日本はなぜ高度経済成長が実現できたのか？

日本が急成長を遂げることが出来た要因はいくつかある。以下に入る単語を考えてみよう。

- ① 経済の民主化 → 農民や労働者の[**所得**]が増えた！
- ② [**教育**]の民主化 → 良質な労働力が豊富に生み出された！
- ③ 日本国民は[**貯蓄率**]が高かった → 銀行に集まった資金を積極的に企業へ投資できた。
- ④ 日本国憲法のおかげで、[**軍事**]支出が少なかった！
- ⑤ [**朝鮮**]戦争(1950~)や[**ベトナム**]戦争(1960年代頃~)で特需が発生した！

(ii)高度経済成長【1955~1973】

■ 高度経済成長期（1955~1973頃）：年平均 約10%の実質経済成長率を記録

② [11 **神武**]景気（1954~57）：輸入中心の民間設備投資によって支えられた好景気

- ・「もはや戦後ではない」（1956）
- ・耐久消費財ブーム：「三種の神器」（冷蔵庫・洗濯機・白黒テレビ）



② [12 **岩戸**]景気（1958~61）

- ・池田勇人内閣 [[13 **国民所得倍増計画**]]



10年間で実質 GNP を倍にしよう！



③ [14 **オリンピック**]景気（1962~64）：公共事業（東海道新幹線、首都高速など）の急増により起こった好景気

- ・貿易・為替の自由化
- ・[15 **OECD**]（経済協力開発機構）に加盟（1964）

先進国の仲間入りを果たす

④ [16 **いざなぎ**]景気（1965~70）：輸出中心の好景気

- ・GNP が資本主義世界で第2位に
- ・経常収支が黒字に = “国際収支の天井”解消
- ・3Cの普及（ car・cooler・color TV ）

大量生産・大量消費社会の到来

*規模の経済

：生産設備を拡大し利益の規模を高めていく

*集積の経済

：関連企業を一定の地域に集める（例：太平洋ベルト）
⇒運搬や輸送のコストが下がり、利益が生まれる

*急激な経済発展により、問題も発生

- ・公害問題 ⇒ **公害対策基本法**（1967）
⇒**環境庁**設置（1971）⇒**環境省**（2001）
- ・都市部の過密化・住宅不足・交通渋滞
- ・ドーナツ化現象、農村部の過疎化 など